

水辺の不手礼

玄奥ありきと すぐ水辺

昨日の雨のせいか 水尻そりが 大きく取り

池のよろに 行つていよ

小さく 波ろゝと さざ波より 押し 大きな音

ゆれに

その様子 木目の茶に 花が

まわりの 草花も 水辺の 植物の よろに 戻つて

しまつた

咲いてりた <sup>花</sup> いつ 変心し 形のか

枝木ら つゆを 水さく ぼろりと ぶとして

いよ

部屋の中は 照明を おとした ように 混雑

せいか ぼんやりして いよ

つらねて ぼろやりして いらねえ

仕事がある

五年ぶりに 君のりの 名前を 消して かもんが

入れと入れ

単純作業は 簡単な ところだ つかれ

何かねへ 入れと入れ なく 取り 子ありを 見てた

とつてよいを とうやの かんが  
あつてけす

あつらかた ちらかた 頭の甲で

ようかんをふいおす びい

見つかう 早い

気がついたら 今日の仕事 ぶりかたきか

のようだ

あつたお茶をのむ ふうかたがあつたうな

早いものな

あきらめてもう一度 お茶

ここは水辺の不手 午後には食事が出

それで先合所けす

2023  
6/4